

科目名 (科目番号)	臨床実習Ⅱ (X線技術) (時間割参照)	教員名	診療放射線 学科教員	学科等	診療放射線	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	3	
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	各担当教員シラバス参照	
授業概要	診療画像技術学分野で学んだ事柄のうち、主に診断領域に関する知識・技術について、演習を通して具体的に「機器操作の技術」,「X線撮影・撮像の技術」および「画像評価の技術」,「画像の読影」を統合させ、様々な診断領域の検査に迅速に対応できる能力を身につける。またエックス線撮影技術学関連の国家試験問題への対応をはかるとともに、診療放射線技術の現状と課題に関する認識を深め、探究する能力を養う。							
目的・目標	目的：X線撮影や造影撮影に必要な基礎知識と実技を学ぶ。 目標：臨床実習に役に立つ知識と実践を身につけ、国家試験と結び付けて覚える。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
	到達目標： 1 実習の目的を明確にできる。 2 患者の状態を判断し、適切な介助できる。 3 検査時の患者の不安を理解し、質問への回答ができる。 4 骨、関節のX線撮影ができる。 5 胸部、腹部のX線撮影ができる。 6 循環器系、消化器系などの造影撮影ができる。 7 X線TV（I. I. またはFPDシステムを含む）を操作できる。 8 CR、DRのしくみ（長所、短所を含む）を説明できる。 9 IVRの方法を説明できる。 10 実習の成果をまとめ、報告できる。 学習内容： 1 実習の目的を理解する。 2 患者の状態を判断し、適切な介助を理解する。 3 検査時の患者の不安を理解し、質問への回答を学ぶ。 4 骨、関節のX線撮影を理解する。 5 胸部、腹部のX線撮影を理解する。 6 循環器系、消化器系などの造影撮影を理解する。 7 X線TV（I. I. またはFPDシステムを含む）の操作方法を理解する。 8 CR、DRのしくみ（長所、短所を含む）を理解する。 9 IVRの方法を理解する。 10 実習の成果をまとめ、報告する手法を学ぶ。							
成績評価の方法・基準	学内実習の成績(40%),実習記録および臨床実習先からの評価(60%)で評価する。							
教科書	放射線画像技術学（第2版） 診療放射線技師 マスター・テキスト 上巻, 下巻 診療放射線技師 臨床実習問答例集			小水満, 石田隆行 梁川功, 高井良尋, 石橋忠 福土政広 監修, 柳田智編集		医歯薬出版株式会社 メジカルビュー 医療科学社		
参考図書	若葉マークの画像解剖学 改訂第2版 診療放射線技師 臨床実習テキスト RT 臨床実習ルートマップ			磯辺智範 遠藤啓吾, 杜下淳次, 中村康彦 橋本光康		メジカルビュー 文光堂 メジカルビュー		
教員からのメッセージ	実際の臨床現場で行われている撮影や検査、患者接遇や安全対策、感染対策など学内では体験できないことを経験し、講義で得た知識と結びつけられるよう積極的に行動してください。 また、学ぶ時間をより充実したものにできるように、復習をしっかりしてから臨んでください。							